

**東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

同種造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染予防に関する多施設共同後方視研究

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、サイトメガロウイルス感染予防について解明することを目的とした共同研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

2014年1月1日 から 2019年12月31日 までの間に、
当院の血液腫瘍内科で同種造血幹細胞移植を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年12月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・ 診療情報等：年齢、性別、身長、体重、診断名、臨床病期、血液所見、造血幹細胞移植に関する情報（ドナー、移植前処置、生着等）、レテルモビルに関する情報（レテルモビル投与の有無、投与開始日、投与量等）

【情報の提供先・提供方法】

上記の診療情報等をレテルモビルの有用性及び安全性の検討、特に必要性の高い患者群の同定のために、関東造血幹細胞移植共同研究グループデータセンターへ FAXにて提供します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

関東造血幹細胞移植共同研究グループに所属する 25 施設

研究代表者：慶應義塾大学医学部 血液内科 岡本真一郎

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2230）

研究責任者 血液腫瘍内科 鬼塚 真仁

問い合わせ担当者 血液腫瘍内科 鬼塚 真仁